

第 20 回児童虐待防止対策協議会	資料 4 - 5
平成 29 年 11 月 22 日	

「全国乳児福祉協議会」提出資料

乳児院 倫理綱領

乳児院の責務は、子どもの生命と人権を守り、子どもたちが日々こころ豊かにかつ健やかに成長するよう、また、その保護者が子どもたちによりよい養育環境を整えられるよう支援することです。

私たちはこのことを深く認識し、子育て支援に対する社会からの要請に応えるべく、日々自己研鑽に励み、専門性の向上をめざします。そして、子どもたちの育ちを支える生活の場として、すべての職員が心をあわせ、子どもたちの幸福を実現するための拠りどころを、次に定めます。

(基本理念)

私たちは、社会の責任のもとに、子どもたちの生命を、かけがえのない、社会で最も尊いものとして大切に守ります。

私たちは、子どもたちによりそい、その思いを代弁するよう努めるとともに、専門的役割と使命を自覚し、一人ひとりの子どもの最善の利益の実現に努めます。

(権利擁護)

私たちは、児童憲章と子どもの権利条約の理念を遵守し、子どもたちの人権(生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利)を尊重します。

私たちは、子どもたちへのいかなる差別や虐待も許さず、また不適切なかかわりをしないよう、自らを律します。

(家庭的養護と個別養護)

私たちは、家庭的な養育環境のもとで、子どもたちが安心して生活できるよう、子どもたち一人ひとりの成長発達をきめ細かく、丁寧に見守っていきます。

(発達の支援)

私たちは、子どもたち一人ひとりと信頼関係を築き、子どもたちが健全な心身の発達ができるよう育ちを支えます。

(家庭への支援)

私たちは、関係機関と協働し、家庭機能の回復を援助するとともに、保護者や里親と子どもたちを継続的に支援します。

(社会的使命の遂行)

私たちは、関係機関と協働し、虐待防止の推進を図るとともに、地域の子育て支援や里親支援などの社会貢献に努めます。



より適切なかかわりをするためのチェックポイント

—意識しよう 気づこう 子どもたちの思い—

私たちは、「乳児院倫理綱領」に子どもたちの幸福^{しあわせ}を実現するための拠りどころを定めました。子どもたちにより適切に接するため、意識すべきことを具体的に掲げ、養育向上に努めます。

1. 子どもたちへ

- 一人ひとりを大切に、人として対等に受けとめます。
*一人ひとりの大切なのちと人権、人として子どもたちを大人と対等な存在として受けとめます。
- 一人ひとりに、せいりっぱい愛情をそそぎます。
*やさしく、あたたかく。一人ひとりに愛情をもって接します。
- 一人ひとりの子どもの視点に立ち、ものごとを受けとめ代弁します。
- あいさつを交わし、いつもやさしいまなざしで成長を見守ります。
*あいさつは生活の基本、お互いに元気をもらいあいます。一人ひとりの成長を喜び、いつも見守っていることが伝わるように努めます。
- ミルクを飲むときは、心地よく飲んでもらえるようにします。
*目と目をあわせ、抱きあげてやさしく話しかけながら。抱っこが苦手な子は好みにあわせて気持ちよく。
- 泣いたとき、訴えているとき、不安なとき、寂しいとき、思いをしっかりと感じて応えます。
*抱きしめます。やさしく語りかけます。子どもたちが求めていることを汲みとって応えます。
- 呼ばれたら、必ず返事をします。
*子どもたちの出すサインに的確に応えます。
- いつも清潔に安全に過ごせるように、気を配ります。
*思いきり遊んで汚してもいい。うんちもおしっこも出たらすっきり。汚せる安心感も爽快感も伝えます。環境面の清潔さと安全生心がかけます。
- ことばで伝えられない気持ちを感じて、つながりあえるよう心がけます。
*乳児院で生活する不安な気持ちを安心に替えたい。気持ちを受けとめ、ともに感じながら、ときにはことばで伝えられるよう働きかけます。
- 大きな声や音でこわい思いをさせないように、気をつけます。
*大声を出す心地よさや大きな声で歌い楽しさも伝えます。危険を感じた場合は大きな声で止めることもあります。
- 絶対に叩いたりつねったりしません。
- あとでねと約束したことは守ります。
*もし約束が守れないときには、必ず子どもたちに謝ります。
- からだの調子がわるいときには、やさしく看護します。
*子どもたちの体調にはつねに気を配ります。安心して休めるようそばにいます。
- おうちに帰るときや新しいおうちへ行くときは、安心して行けるようみんな準備します。
- 新しいおうちからあそびにきたときは、いつでも温かく迎えます。

2. 保護者の皆さん、里親の皆さんへ

- 私たちは、「乳児院倫理綱領」と、それぞれの乳児院が定める規範などを意識し、子どもたち一人ひとりがかげがえのない存在として、愛情をもって接します。
- 皆さんと子どもたちを、いつでも温かくお迎えします。
*乳児院での生活など、分かりやすく説明します。
- 皆さんとともに子どもたちの成長を喜び、見守り、養育について考え続けます。

3. 仲間どうして

- 互いに補いあい、子どもたちが穏やかに過ごせる環境づくりに努めます。
*養育のこと、子どもとの関わりのこと、一人で悩まずに、仲間に相談します。
- 互いに学びあう姿勢を心がけます。
*チームワークを大切にします。
- 自己研鑽、職場内(外)研修で、より一層の向上をめざします。

